

代表質問

八街市ロードレース大会を 八街市ピーナッツロードレース大会に改名して、街おこしをしよ



誠和会
古川 宏史

市長の政治姿勢について

問 長谷川市長は、平成18年の市長選挙において、さまざまな政策を掲げ、4選を果たし、それらの政策のほぼ9割以上は実現されたと思われる。そこで、平成22年12月に任期になるが、今後の決意について伺う。

市長

平成6年に市長に立候補したとき、「格差のない街づくりに取り組む」という公約を掲げて、皆様のご支援をいただき、当選をさせていただきました。私の掲げた政策については、次期2カ年の計画事業の中で、実施計画が完成すれば、ほぼ終わるのではないかと思っています。ここで一つの区切りと判断しまして、残された任期を精一杯市政のために尽力して引退をさせていただきます。

八街市のPRについて

問

八街市ロードレース大会を八街市ピーナッツロードレースに改名して、さらに大きな大会にできないか伺う。

教育長

ロードレース大会の名称

については、教育委員会とともに、ロードレース大会の主催者であります八街市体育協会と引き続き検討していきます。また、参加者がより多く参加できる大会にするために関係各課と連携し、八街の特産物の活用やコースの変更なども視野に入れ、体育協会等とともに引き続き検討していきます。なお、1月17日に開催されましたピーナッツ駅伝大会及び2月11日開催のロードレース大会で、JAいんばの協力を得て、八街のニンジンを使用したキャロットジュースを参加者等に提供し、大変好評でありました。八街の特産物のPRを図ることができたと考えています。

教育問題について

問

学力を向上させていくにあたり、どのような手だてで努力していくのか伺う。

教育長

第1に「学力向上プロジェクト」の活用、第2に「八街市基礎学力調査」と「千葉県標準学力検査」の実施と活用、第4に研

究指定校による教員の指導力向上、第5に指導主事による授業参観の5点を主な事業として取り組んでいく所存です。

重要施策について

問

平成22年度における①便利で快適な街づくり、②安全で安心な街づくり、③健康と健康のため的重要施策について伺う。

市長

①便利で快適な街づくりとして、八街駅北側地区土地区画整理事業、都市計画道路3・4・3号八街神門線整備事業、都市計画道路3・4・9号金毘羅線整備事業など、引き続き推進することとしました。また、道路等の整備事業では、市道文違1号線道路改良事業の平成22年度完成を目指し、引き続き推進するとともに、新規事業として市道114・116・210号線交差点改良事業に着手します。その他、平成21年度からの繰越事業として、市道四木28号線道路改良事業及び市道115・216号線交差点改良事業を実施します。

関連質問

山本邦男 議員

問

本市の平成22年度予算において、市税収が0.6パーセントのマイナスを見込んでいるということだが、国の地方財政計画では、景気の回復の遅れで10.2パーセントのマイナスを見込んでいる。国と本市の見通しでは、だいぶ差があるようだが如何か。

財政課長

平成22年計画では、地方税がマイナス10.2パーセント、普通税がマイナス10.4パーセント、目的税がマイナス4.7パーセントとなっております。地方税全体のマイナスは、法人税関係に起因するところが大きいと承知しています。個人の所得についても、給与所得が減っていますが、大きな落ち込みはありますが、影響はあります。法人税関係については、大きい企業がなく、1社、2社の大きい業種に依存するわけではありませんが、マイナスはあります。その率が低いと考えています。